

申請書の記入例

1

市が申請内容等を確認した後、市へ提出する日を記入

様式第1号（第6条関係）

八女市新規創業・新事業展開補助金交付申請書

〇〇年△△月□□日

八女市長

申請者の住所、氏名、電話番号を記載。法人の場合は法人名を記入。

(申請者)

住所 八女市本町〇〇〇番地

氏名 八女 創業太郎 印

電話番号 0943-〇〇-〇〇〇〇

申請する年度を記入

〇〇年度八女市新規創業・新事業展開補助金の交付を受けたいので八女市新規創業・新事業展開補助金交付要綱第6条第1項の規定に基づき関係書類を添えて申請します。

✓を入れる

屋号及び業種などを記入

1 補助金の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規創業補助金 <input type="checkbox"/> 新事業展開補助金 ※該当する補助金へ✓を入れる。
2 事業名及び概要	居酒屋 〇〇〇〇 (飲食業)
3 補助金の申請額 ※注	500,000円
4 補助事業の完了予定日	〇〇年〇〇月〇〇日

申請時に完了予定日を確認します。遅くとも3月25日頃までの日付となります。

(添付書類) ※注) 新規創業補助金、新事業展開補助金ともに対象経費の2分の1で上限50万円

必ず提出

(1) 新規創業補助金を受ける者にとっては、新規創業事業計画書（様式第2号の1）、新事業展開補助金を受ける者にとっては、新事業展開事業計画書（様式第2号の2）

対象経費の2分1で上限50万円まで千円未満切り捨て

(2) 誓約書（様式第3号）

事業形態により何れか

(3) 市が指定した創業塾等受講証明書（様式第4号）八女商工会議所又は八女市商工会が経営指導等を行った旨の証明書（様式第5号）

(4) 登記事項証明書の写し（法人で既に登記を済ませている場合に限る）

(5) 開業届の写し（個人事業主に限る）

(6) 営業許可証の写し（許可を必要とする業種の場合に限る）

(7) 事業所等の賃貸借契約書等の写し又はこれに類するもの（賃貸借の場合

に 申請時に許可が出てない場合は実績報告書を提出するまでに提出。ただし、申請時に理由書を添付。

(8) 福岡県経営革新計画承認事業者に係る承認書の写しおよび経営革新計画の写し（第二創業者を除く、新事業展開補助金申請を行う者のみ）

(9) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める資料

同意書は必須。場合によっては理由書等が必要。

対象経費に店舗・事務所家賃を計上している場合は必要

様式第2号の1 (第6条関係)

八女市新規創業事業計画書

申請書に記入した内容と同じ

1 申請者の概要等

ふりがな 代表者氏名	やめ そうぎょうたろう 八女 創業太郎	性別	男	生年月日 (年齢)	1970年〇〇年〇〇日 (〇〇歳)
連絡先住所等	〒834-0031 八女市本町〇〇〇〇			本事業創業直前の職業	※会社員など前職を記入
	TEL	0943-〇〇-〇〇〇〇			
	FAX	※あれば記載			
	E-mail	※あれば記載			
事業以外の事業経営経験	<input type="checkbox"/> 事業を経営したことがない。 <input type="checkbox"/> 事業を経営したことがある。 ※注該当するものに✓を入れる。				
職歴	〇〇年△△月	※過去の従事した職歴を記入。			
	◇◇年△△月	※過去の従事した職歴を記入。			

経営の有無に✓を入れる

2 実施形態

個人事業主は開業日を法人は法人設立日を記入。

開業・法人設立日(予定日)	□□年××月▽▽日 注) 補助事業期間内に開業又は法人設立を行うこと				
ふりがな 法人名(屋号)	※法人の場合は法人名、個人事業主の場合は屋号を記入				
事業実施地(予定地)	〒834-〇〇〇〇 八女市〇〇〇123番地			事業形態	※個人事業主または法人等を記入
主たる業種 (日本標準産業分類中分類を記載)	中分類名: 飲食店 コード(2桁): 76				
役員・従業員数	合計	〇名	内訳	①役員: (法人のみ)	名 ※法人の場合記入 (うち大企業の役員又は職員を兼ねている者: 名)
				②従業員: ③パート・アルバイト:	名 } 雇用する場合は記入 名 }
事業に要する許認可・免許等 (必要な場合のみ記載)	許認可・免許等名称: 飲食営業許可、調理師免許etc 取得見込み時期: 飲食店営業許可: 〇年〇月頃				

店舗・事務所の住所

営む業種を記入

個人事業主の場合、本人は除く

雇用する場合は記入

業種によっては、資格又は営業許可証を必要。必要な場合のみ記入

## 2 事業内容

①事業の具体的な内容				
<u>※実際に行う内容をわかりやすく記入ください。</u>				
②本事業の動機・きっかけ及び将来の展望				
<u>※創業に至った思いと、将来は、どのように展開したいかなどを記入ください。</u>				
③本事業の知識、経験、人脈、熱意				
<u>※創業する業種（内容）に関する知識や経験及び人脈など強みなどを記入ください。</u>				
④本事業全体に係る資金計画				
【新事業の立ち上げ（準備から補助事業期間の終了までに必要な全ての資金と調達方法を記載してください。）】				
	必要な資金	金額	調達方法	金額
	補助対象経費を含め、必要となる経費等を記入		自己資金	700,000 円
設備資金	店舗改装費	1,200,000 円	金融機関からの借入金 (調達先) 日本政策金融公庫	1,000,000 円
	器具購入費	500,000 円		
	設備資金の合計	1,700,000 円	市補助金	500,000 円
運転資金		500,000 円	申請額を記入	
	運転資金の合計	500,000 円	その他（市以外の補助金等）	同額となります。
	合 計	2,200,000 円	合 計	2,200,000 円

金融機関から資金調達見込み ※該当するものに✓を入れる。

既に調達済み       補助事業実施期間中に調達見込み

借入がある場合、該当する方に✓を入れる

※⑥売上・利益等の計画に基づいて実施する内容を記入ください。

⑤事業スケジュール	
実施時期	具体的な実施内容
1年目	
2年目	
3年目	

⑥売上・利益等の計画			
	1年目 (年月～年月期)	2年目 (年月～年月期)	3年目 (年月～年月期)
(a)売上高	千円	千円	千円
(b)売上原価	千円	千円	千円
(c)売上総利益 (a-b)	千円	千円	千円
(d)販売管理費	千円	千円	千円
営業利益(c-d)	千円	千円	千円
従業員数	(うちパート・アルバイト 人)	(うちパート・アルバイト 人)	(うちパート・アルバイト 人)
積算根拠	※計算式等		

※創業1年目から3カ年の売上・利益等の計画を記入ください。

※消費税等を除く、対象経費を記入ください。

なお、対象とならない場合があるので事前に市へ相談ください。

3 経費明細表

(単位：円)

事業経費項目	補助対象経費	補助金 交付申請額 (A×1/2以内)	積算内訳・説明
①開業又は法人設立に伴う申請書類作成等に係る経費	( )		
②店舗等の借入費（補助金交付決定の日から当該申請年度の3月31日まで）	( )		
③店舗等開設に伴う内装・外装工事費	1,200,000円 ( )		内装改修工事費一式
④設備費（リース、レンタルの場合は、補助金交付決定の日から当該申請年度の3月31日まで）	500,000円 ( )		調理器具一式300,000円 冷蔵庫200,000円
⑤試作品等製作に係る原材料費	( )		
⑥広報費	( )		
⑦試作品等外注費	( )		
⑧委託費	( )		
	(A)	(B)	
合計	1,700,000円 ( )	500,000円 ( )	

※補助金申請額。対象経費の2分の1で上限50万円

備考

※国の補助金を受ける場合は（ ）書きで、その対象経費を記入。

- 1 対象経費については、その根拠となる見積書等の写しを添付すること。
- 2 この様式は、必要に応じ所要の調整をして使用することができる。
- 3 補助対象経費の欄には、国の補助金を受ける場合は、上段に市補助金のみの対象経費を記入し、下段に（ ）書きで国の補助金対象経費を記入すること。

## 申請書に添付

様式第3号（第6条関係）

誓 約 書

申請書と同じ日付を記入

〇〇年〇〇月〇〇日

八女市長

申請書と同じ住所、氏名を記入

(申請者) 住 所 八女市本町〇〇〇番地

氏 名 八女 創業太郎 印

私は、八女市新規創業・新事業展開補助金交付要綱の適格者として補助金を受けるに当たり、次のことを誓約します。

- 1 八女市新規創業・新事業展開補助金交付要綱の趣旨を理解し、申請する事業において、目標が達成できるように鋭意努力し、将来的には、定住促進並びに雇用拡大につながるように事業に専念いたします。
- 2 八女市新規創業・新事業展開補助金交付要綱の規定に違反したときは、補助金の交付を取り消され、又は補助金の全部若しくは一部の返還を請求されても異議ありません。

様式第4号（第6条関係）

市が指定した創業塾等受講証明書

## 創業塾の修了証書の写し添付で可

年 月 日

未受講の方は、申請書を提出した年度内に受講して写しを提出

八女市長

商工会議所又は商工会が発行しますが通常は修了証書の写し

住 所

実施機関名

代表者氏名

印

次の者は、八女市新規創業補助金の交付申請に当たり、八女市が指定した創業塾等を下記のとおり受講したことを証明いたします。

記

創 業 塾 等 名		
受 講 年 月 日		
受 講 会 場 名		
講 師 名		
受 講 者	氏 名	
	住 所	
	生年月日（年齢）	年 月 日生（満 歳）
	開業予定業種	
	開業予定時期	年 月 日 頃
その他、特に記載すべき事項		

## 申請書に添付

様式第5号（第6条関係）

八女商工会議所又は八女市商工会が経営指導等を行った旨の証明書  
**商工会議所又は商工会で新規創業事業計画書を  
確認し、経営指導を受けた後に発行されます。** 年 月 日

八女市長

**商工会議所又は商工会が発行します。**

住 所

指導組織名

代表者氏名

印

次の者は、八女市新規創業・新事業展開補助金の交付申請に当たり、八女商工会議所又は八女市商工会の経営指導員等によって経営指導を行ったことを証明いたします。

事業所名	
事業主氏名	
事業所住所	
業種名	
補助金の種類	<input type="checkbox"/> 新規創業補助金 <input type="checkbox"/> 新事業展開補助金
事業開始予定年月日	年 月 日 ～
経営指導等を受けた時期	年 月 日 ～
経営指導等担当者氏名	
その他、特に記載すべき事項	

(個人事業主用) **申請書に添付 (法人の場合は法人用)**

**同意書**

(新規創業・新事業展開補助金)

八女市新規創業・新事業展開補助金の交付申請にあたり、八女市新規創業・新事業展開補助金交付要綱（平成27年3月11日決裁）第3条第1項第2号に規定する補助対象者の要件に係る市税、国民健康保険税又は税外徴収金の滞納状況を市担当職員が調査することに同意します。

なお、このことについて、同居親族の同意も得ています。

記

1. 調査対象者：申請者及び同居の親族
2. 調査項目：市税、国民健康保険税、税外徴収金、水道料金、下水道使用料、下水道受益者負担金

申請書と同じ日付を記入。

〇〇年△△月□□日

八女市長

申請書と同じ住所、申請者名を記入。

申請者 住所 八女市本町〇〇〇番地

氏 名 八女 創業太郎 印

(法人用)

## 同意書

(新規創業・新事業展開補助金)

八女市新規創業・新事業展開補助金の交付申請にあたり、八女市新規創業・新事業展開補助金交付要綱（平成27年3月11日決裁）第3条第1項第1号に規定する補助対象者の要件に係る市税又は税外徴収金の滞納状況を市担当職員が調査することに同意します。

### 記

1. 調査対象者：法人名義分
2. 調査項目：法人に係る市県民税、税外徴収金、水道料金、下水道使用料、下水道受益者負担金等

年 月 日

八女市長

申請者 住 所

法人登記した住所及び法人名、代表者名を記入。

法人住所・法人名・代表者名

印

様式第8号（第8条関係）

八女市新規創業・新事業展開補助金変更承認申請書

年 月 日

**※注）補助金交付決定後に補助金額が変更となる場合、  
八女市長 補助対象事業に変更が生じた場合等に提出**

（申請者）

住 所

氏 名

印

電話番号

年 月 日付け 第 号で補助金交付決定を受けた八女市新規創業・新事業展開補助金について、申請内容を下記のとおり変更したいので承認願います。

記

1 変更区分 （ 変更 ・ 中止 ・ 廃止 ）

2 変更内容

様式第9号（第9条関係）

八女市新規創業・新事業展開補助金実績報告書

市へ提出する日を記入

〇〇年△△月□□日

工事終了後や器具备品等の購入後、支払いが終わり領収書の写しや写真等を添付し提出

八女市長

申請書と同じ住所、氏名を記入

(申請者)

住 所 八女市本町〇〇〇番地  
 氏 名 八女 創業太郎 印  
 電話番号 0943-〇〇-〇〇〇〇

補助金交付決定通知書(様式第6号)より記入。不明の場合は空欄で可

年 月 日付け 第 号で補助金交付決定を受けた事業の実績について、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

✓を入れ、補助金交付決定額を記入

1 補助金交付決定額	<input checked="" type="checkbox"/> 新規創業補助金 <u>500,000</u> 円 <input type="checkbox"/> 新事業展開補助金 _____円
2 補助対象経費確定額	補助対象経費を記入 1,700,000円
3 補助金の精算額	補助金交付決定額を記入 500,000円
4 補助金精算額の算出根拠	別紙添付書類のとおり（領収書写し）
5 補助事業開始年月日	〇〇年◇◇年△△日
6 補助事業完了年月日	〇〇年□□年▽▽日

(添付書類) 補助金交付決定後の事業に着手した日付を記入。

- (1) 補助事業の実施状況又は成果を証する書類の写し
- (2) 補助対象経費確定額を証する書類の写し
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類

改装工事や器具・備品等の購入が完了し、代金の支払いが終わった日付を記入。

様式第11号 (第11条関係)

八女市新規創業・新事業展開補助金交付請求書

空欄で提出ください。

年 月 日

②の実績報告書を提出し、補助金確定通知書が届いた後に提出

八女市長

申請書と同じ住所、氏名を記入

補助金交付確定通知書(様式第10号)より記入。不明の場合は空欄で可

(申請者)

住所 八女市本町〇〇〇番地
氏名 八女 創業太郎 印
電話番号 0943-〇〇-〇〇〇

年 月 日付け 第 号で補助金交付確定通知

のあった八女市新規創業・新事業展開補助金について、下記のとおり請求します。

記

✓を入れる。

1 補助金交付確定額
[checked] 新規創業補助金 500,000円
[ ] 新事業展開補助金 円

2 請求額 500,000円

補助金交付決定額を記入。

3 振込先情報

Table with 2 columns: Field Name and Value. Fields include: 振込先金融機関・支店名 (〇〇〇銀行 △△支店), 預金種目 (普通), 口座番号 (〇〇〇〇〇〇), フリガナ (ヤメ ソウキョウタロウ), 口座名義人 (八女 創業太郎)

個人事業主の場合は本人、法人の場合は法人名義の口座情報を記入。